

# つどい

635号

2019年12月15日

清瀬市松山一―二―一―二  
カトリック清瀬教会  
TEL 〇四二(四九一)〇一〇四

清瀬教会に赴任して半年になりました。今回は、少し自分のことを書きますので我慢して読んでください。

前任者である伊藤神父さんが「今度来る神父は、元氣だけれど高齢者です」と言ってくださったと聞いて、素晴らしい紹介だなと感心しました。そのものズバリの表現です。元氣です。しかし、お歳(とし)です。七十六歳。最近ますます、怒りっぽくなっています。時々雷が落ちます。気をつけてください。

先日、宣教協力体の司祭交換で小平教会に行ってきました。若い頃に一年半ほど、そこです。お留守番をしていたことがあります。「お久しぶり」の懐かしい顔に沢山お会いできました。ちよつと計算して

みると三十五年前のことです。話していると、いつの間にか当時に戻っていて、年を忘れていました。

さて、清瀬に来て、いい空

## 赴任から半年

西川 哲彌 神父

氣と、温かい方たちに良くして頂いて、すっかりいい氣になっけています。ヘンテコな自信と、ちよつとしたプライドが災いして、すでに多くの人を傷つけてしまいました。とんでもない司祭です。ホント。しかし、一生懸命です。それだけが取り柄です。自分で言うのもおこがましいかもしれませんが、昔の司祭のよう

に、清瀬教会を預かった司牧者、もう一人のキリストとして、司祭職を生きようとする昔型の神父です。若い司祭のように、仕事として割り切つて、与えられたことをこなして行くということができません。「イエス様ならどう答えるか」「キリスト様ならどう応え

るか」が、ついて回るのです。困ったものです。それしかないのです。

今時珍しい神父に入るのかもしれません。もしかしたら、ミサが好きです。その時間に誰が来なくても、一人でミサを捧げるタ イプの変わつた神父です。

日本では、カトリック教会の信徒は、針をついたほどしかいません。本当に小さな集

団です。信徒を増やしたいと願つて教会あげて奮闘努力しています。しかし、結果は出ません。装置を大きくしてしまつたので、維持するだけでも大変です。でも、信徒も司祭もへこたれません。元氣です。私もへこたれません。神様がいつもそばにいてくださり、喜びと安心を与えてくださるからです。それだけで充分です。

「宣教のない信仰は死んだ信仰です」とか、「宣教あつてこそ、生きている信仰だ」とか言われています。どういふわけか、宣教というと、すぐに数字が出てきて、人を信仰から引き離してしまいます。神様からも引き離してしまいます。イエス様が、「全世界に行つて福音を宣べ伝えなさい」とおっしゃつたので、宣教は宣べ伝えるものだという印象を与えています。その前に、福音という宝物を受け止めて、

心の底から喜ぶこと。本当に喜んでいなくては伝わりません。掛けがないの宝物を頂いた喜びがないと伝わりません。宣教は、生きた神を生きること、そのものです。生きていることで生きている神を表すということです。「宣教は神様がしてください」といっても言い過ぎではありません。ある面、宣教は神様に任せておけばいいのです。

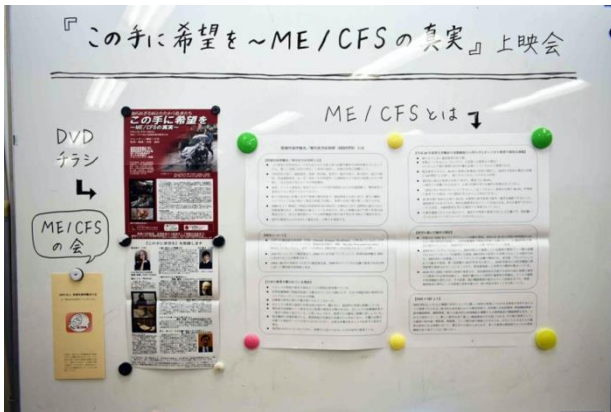
なんだか悟ったようなことを言って申し訳ありません。でも、本当です。私は、いつも祈っています。困っている方や病気の方々がいつも気になります。祈りを通して、安心と元氣と喜びを届けています。富んだ人や有り余っている人は、後回しにします。さてさて、五月に赴任して、すぐに、小さな菜園を使わせていただいで野菜を始めました。ありきたりの野菜、トマトと茄子ときゅうりです。以

来、建物の周りを掘り返したり埋めたりして、手を泥だらけにしています。晴れていれば毎日、そんなことをやっています。土をいじったり、花に水をやりたりするのが好きなんです。多分。本職がそっちのけにならないように、そして、人の領域に踏み込まないように気をつけてやっています。迷惑をかけていたらお許しください。

### 【清瀬教会日々の出来事】

#### 「この手に希望を」上映会

八月二十五日(日)に信徒会館ホールにて上映会が行われました。内容は神経難病である筋痛性脳脊髄炎／慢性疲労症候群(ME/CFS)についてです。上映会では患者の会理事長、篠原美恵子さんに現状を語って頂きました。



第一回武蔵野北宣教協力体  
式交換  
九月一日(日)のミサは小平教会のパウロ小池亮太神父様の司式で行われました。ミサ後は信徒会館にて歓迎パーティーが催されました。



敬老の集い  
 九月八日（日）に敬老の集い  
 が行われました。



第二回武蔵野北宣教協力体  
 式交換  
 十月六日（日）のミサは秋津  
 教会のパウロ野口邦大神父様  
 の司式で行われました。ミサ  
 後は有志による歓迎食事が  
 催されました。



清瀬教会バザー  
 十月二十日（日）に教会バザ  
 ーが行われました。



府中墓地墓参  
 十月二十七日（日）ミサ後に  
 府中墓地墓参が行われました。







七五三のお祝い  
十一月十日(日) 十時のミサ  
の中で七五三のお祝いが行わ  
れました。



消防訓練  
十一月十七日(日) に消防訓  
練が行われました。

《石けん売上報告》

平成30年7月～令和1年10月

年/月	仕入	売上(着付金)	支払	支出
30/7月				
8月		540		
9月		1,180		
10月				
11月		1,050		
12月				
31/1月				
2月		4,010		葬儀お花代 10,000
3月		6,300		教会へ寄付(ミニバザー) 10,000
4月				
令/5月				
6月	9,944	6,276	9,944	
7月		2,360		
8月				
9月				
10月	13,274	17,300	13,274	教会へ寄付(バザー) 5,000
合計	23,218	39,016	23,218	25,000

前期繰越金18,968+売り上39,016-支払い23,218-支出25,000=次期繰越10,876円

いつもかなの家の石けんをご利用下さいましてありがとうございます。  
尚、せっけん売上報告の掲載は今回で終了させていただきます。  
石けんグループ 清水 初江

【信徒動向】

〈帰天〉

岡田 萬里さん (八十三歳)  
長谷川 孝一さん (八十四歳)  
坂本 京子さん (九十二歳)  
アルベルト  
太田 久さん (七十歳)  
モニカ  
大湊 まき子さん (八十四歳)  
アシジのフランシスコ  
仲丸 芳光さん (九十一歳)

〈転出〉

マリア 高木 まり子さん  
(東京教区秋津教会へ)  
マリア・ベルナデッタ  
山川 典子さん  
(東京教区府中教会へ)

〈転入〉

マリア 渡辺 はつえさん  
(さいたま教区水戸教会より  
三地区へ)